

航空自衛隊仕様書				
仕様書の種類	内容による分類	役務仕様書		
	性質による分類	個別仕様書		
物品番号			仕様書番号	
品名 又は 件名	部外委託教育 (CompTIA Security+ (試験付))		空シス隊LPS-X00047	
			承認	令和7年7月8日
			作成	令和7年7月8日
			改正	令和 年 月 日
			作成部隊等名	航空システム通信隊

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、部外委託教育 (CompTIA Security+ (試験付)) について規定する。

1.2 用語及び定義

この仕様書で用いる用語及び定義は、次による。

1.2.1

講師

当該契約に基づき、指定された場所において教育を実施する者

1.2.2

サイバー防護関連業務従事者

航空システム通信隊において、サイバー攻撃等対処に関連する業務に携わる者

1.2.3

サイバー攻撃等

サイバー攻撃及びサイバー攻撃と同様の影響を発生させる情報システムの誤操作並びにサイバー攻撃以外によるコンピュータ・ウイルスの混入等

2 役務に関する要求

2.1 役務内容等

被教育者に対し、サイバー防護関連業務従事者としての能力向上のために CompTIA Security+ の講義及び実習を実施するとともに、資格試験受験に係る手続きを行う。

2.1.1 履行場所

航空自衛隊市ヶ谷基地から契約の相手方が教育を実施する場所まで鉄道を利用して1時間30分以内で移動できる場所とする。

2.1.2 機材

教育に必要な機材は、すべて契約の相手方が準備するものとする。

2.1.3 教育期間

令和7年8月18日 (月) ~ 令和7年8月20日 (水)

2.1.4 被教育者

5名

2.1.5 教育内容

別紙による。

2.1.6 1日の教育時間

7時間（基準）

2.1.7 到達目標

CompTIA Security+認定取得に必要な知識・技術が習得できる。

2.2 講師の条件

CompTIA Security+に関する知識を有するとともにCompTIA トレーニングパートナーのGOLDパートナー又はPlatinumパートナーの認定を有することとする。

2.3 教材

- a) 契約の相手方は、教育に必要な以下の内容（基準）を含む教材を作成し、被教育者に配布し、当該教材を基に教育を実施するものとする。
- b) 契約の相手方は、当該契約に基づく教育の内容について、最新でより良い内容にするため、一部の学習項目を変更する場合は、その旨を契約担当官に通知する。
- c) 契約の相手方は、当該契約に基づく教育の終了後、被教育者に配布した教材を官側に提供するものとする。

2.4 試験に関する要求

契約の相手方は、国際認定資格試験のRETAKEバウチャー（試験予約チケット）を被教育者に発行するものとする。バウチャーは一度不合格の場合に再受験可能なものを提供すること。

3 検査

検査は、関係契約条項及び契約担当官の定めるところによる。

4 その他の指示

4.1 不測事態発生時の対処

講師が急病等の理由により教育を実施できない場合は、速やかに、代替講師を差し出すものとする。

4.2 その他

この仕様書に規定のない事項又は疑義が生じた場合は、速やかに契約担当官と書面により協議するものとする。

教育内容		
区分	教育項目	
	以下の教育項目（合計：1, 260分（基準））を実施する。	
講義 実習	CompTIA Security+	<ol style="list-style-type: none"> 1) セキュリティの基本概念の要約 2) 脅威の種類と比較 3) 暗号化ソリューション 4) ID とアクセス管理の実装 5) エンタープライズネットワークアーキテクチャのセキュリティ強化 6) クラウドネットワークアーキテクチャの保護 7) 回復力とサイトセキュリティの概念 8) 脆弱性管理 9) ネットワークセキュリティ機能の評価 10) エンドポイントセキュリティ機能の評価 11) アプリケーションのセキュリティ機能の強化 12) インシデント対応とモニタリングのコンセプト 13) 悪意のあるアクティビティの指標の分析 14) セキュリティガバナンスの概念 15) リスク管理プロセスの探究 16) データ保護とコンプライアンスの概念の要約